

NPO法人M2M・IoT研究会 関西部会が今年の6月に続き、第17回関西部会講演会をSocial distanceを確保した講演会場と遠隔視聴を併用したハイブリッド形式で下記要領にて開催させていただきます。今回は、IoTの社会実装を推進するIoT人材育成の取り組みや、カーボンニュートラルに向けた自動車産業の方向性、IBMのクラウドプラットフォームの活用に向けた取り組みなど幅広い内容について、大学で研究をされておられる先生と企業でビジネス展開されておられる方にご講演をさせていただきます。ご案内をさせていただきますとともに、皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2022年12月16日(金) 13:30~17:00 (受付13:00~)

会場 AP大阪茶屋町 Gルーム 大阪市 北区 茶屋町 1-27 ABC-MART梅田ビル 8階

申し込み 申込サイトからお願いします(裏面を参照願います)

開会あいさつ
13:30~13:35

NPO法人 M2M・IoT研究会 関西部会

部会長 西村 雄二

講演-1
13:35~14:35

OpenShift/コンテナの活用例のご紹介

日本アイ・ビー・エム株式会社 IBMコンサルティング事業部

HCS, Openshift&Middleware事業部 パートナー 佐藤 卓由 様

IBMがOpenShiftに注力している背景、コンテナ化を推進している理由や、OpenShiftの特徴(Kubernetesとの違い等)を実例やご活用頂くための体制例や支援サービスの内容について、紹介する。

休憩

10分 (14:35~14:45)

講演-2
14:45~15:45

カーボンニュートラルに向けた自動車産業の方向性

株式会社SOKEN エグゼクティブフェロー

日本自動車部品工業会 技術顧問 古野 志健男 様

2050年のカーボンニュートラルに向けて世界中が大きく動き出している。その中でも、運輸の自動車業界では、BEVを中心とした電動化と再生可能エネルギーによる水素や合成燃料技術に舵を切ってきている。それら自動車メーカーの中長期的な経営戦略を紹介する。将来、モビリティ社会として本当にBEVが席卷し、世の中から内燃機関は消滅していくのか? BEVやFCEV普及の課題は解決するのか? 二次電池は足りるのか? e-fuelの供給量やコストは成り立つのか? など、各社の本音にも迫り、今後のカーボンニュートラルに向けた自動車産業の方向性を紐解いてみたい。

休憩

10分 (15:45~15:55)

講演-3
15:55~16:55

IoTによる災害レジリエンス向上とIoT人材育成の取り組み

福井工業大学 AI&IoTセンター・経営情報学科

教授 情報メディアセンター長 北上 眞二 様

福井工業大学では、災害レジリエンス向上を目的とした研究開発を推進している。その一例として、雨水の資源化と内水氾濫緩和を両立させるクラウド型雨水タンク管理システムの開発、およびLPWAを活用した中小河川監視実証実験について紹介する。また、IoTの社会実装を推進するIoT人材育成の取り組みについても紹介する。(LPWA: Low Power Wide Area Network)

閉会あいさつ
16:55~17:00

NPO法人 M2M・IoT研究会 関西部会

副部会長 山崎 貞彦

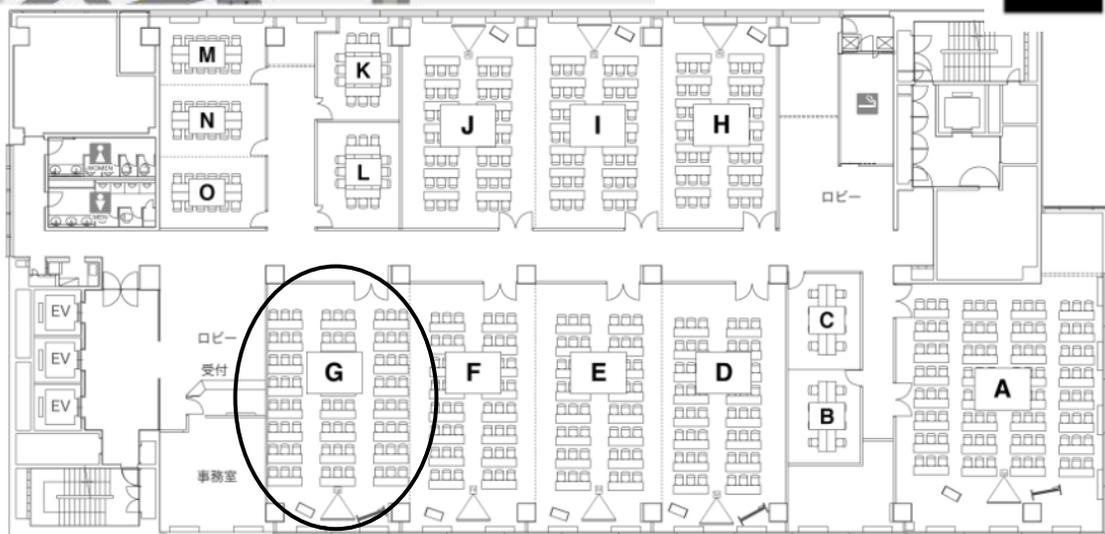
(日本マイクロシステムズ株式会社 代表取締役会長)

講演会会場、申込方法

講演会会場



8F



WEBでのお申込

<https://www.m2msg.org/?p=5745>

MAILでのお申込

contact@m2msg.org

※メールにてお申込みいただく場合は、企業名・団体名、氏名、メールアドレス、および会員/非会員/賛助会員/学生の区分をご記入ください。



参加者へのお願い

会場参加者はマスク着用でご来場ください。
発熱や体調不良の方のご来場はご遠慮ください。
また、会場入口での消毒スプレーによる手の消毒と体温測定にご協力ください。

お問合せ

日本マイクロシステムズ株式会社内、関西部会事務局： 06-6227-4002